

## 可燃ごみの広域処理施設について

**1 可燃ごみの広域処理**

本市と大阪府枚方市は、令和7年度末を開始予定として、可燃ごみの広域処理を行います。この広域処理に向けて、「枚方京田辺環境施設組合」が平成28年5月に設立されました。

事務局は、京田辺市と枚方市からの職員派遣で担っています。

**2 広域処理施設の概要**

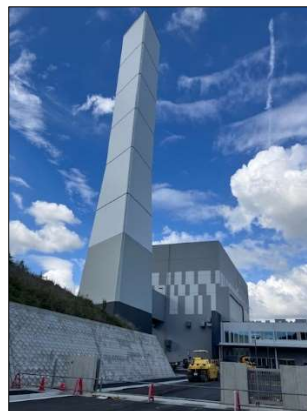
環境衛生センター甘南備園焼却施設と大阪府枚方市の穂谷川清掃工場第3プラントの後継施設として可燃ごみの広域処理を行います。

令和7年10月から試運転期間に入っていて、本格稼働に向けて順調に進んでいます。

なお、可燃ごみ以外のごみについては、引き続き、各市のリサイクル施設等で処理を行います。

**枚方京田辺可燃ごみ広域処理施設**  
-----

項目	概要
所在地	京田辺市田辺ボケ谷18番地2
処理対象物	燃やすごみ（可燃物）
処理能力	168 t/日
本格稼働	令和8年3月31日（予定）
稼働時間	24時間
処理方式等	ストーカ式（全連続式焼却方式）
煙突の高さ	100m



## 施設の運営について

---

特別目的会社（SPC：Special Purpose Company）によって運営を行います。

運営期間：令和8年3月31日～令和28年3月31日

業務内容：焼却炉の運転と監視、搬入ごみの記録管理、施設整備・点検、見学者の案内など。

## 施設の特徴

---

- 都道府県を跨いだ可燃ごみ焼却処理施設
- 環境学習（施設見学）を見据えた会議室や見学ルートを確保
- 京田辺市及び枚方市のごみ減量施策等の普及啓発への貢献を目指す。

## 環境学習

---

主に小学4年生を対象とした施設見学を実施します。

また、今後20年に渡って、地域の小学生をはじめ、沢山の人が見学できる施設であることから、地域の人々が参加可能な環境学習の展開も考えています。

その一環として、小学生の施設見学の案内を地域のボランティアにも務めていただくことで、住民参加型の環境学習を推進します。